

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2018年版

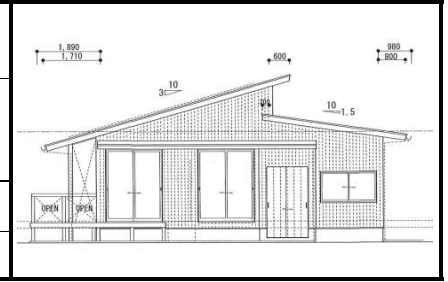
■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2018v1.0

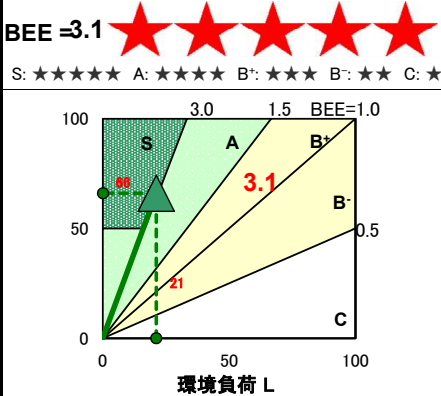
1-1 建物概要

建物名称		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2019年4月	竣工		
建設地		<備考>		
用途地域	準都市計画区域内	確定		
省エネルギー地域区分	6地域			
構造・構法	木造軸組	確定		
階数	1		サステナブル先導事業 環境効率 最高ランクS取得	
敷地面積	497 m ²	仮	評価の実施日	2018年10月12日
建築面積	123 m ²	仮	作成者	荒瀬優香
延床面積	112 m ²	仮	確認日	2018年10月12日
世帯人数	3	仮	確認者	田中 章三

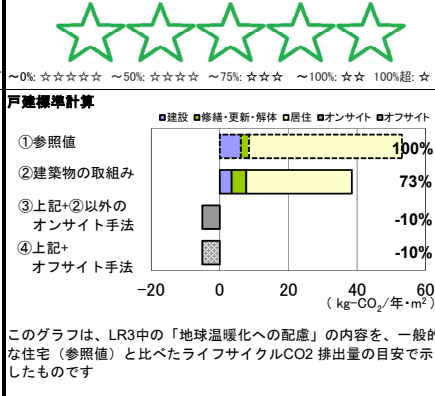
1-2 外観



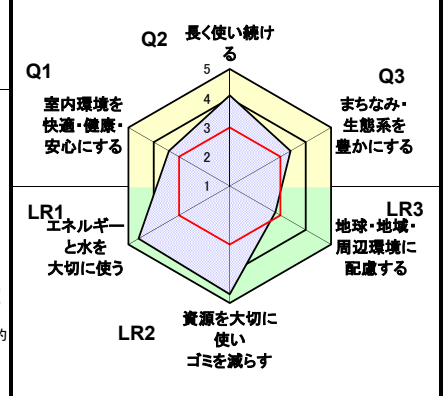
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

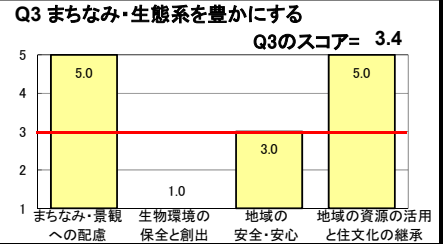
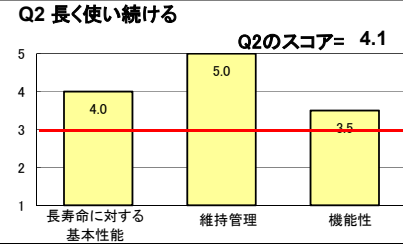
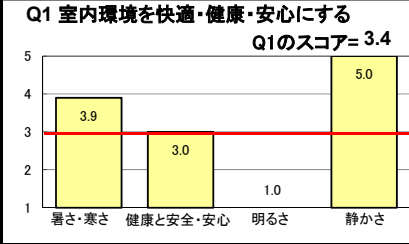


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

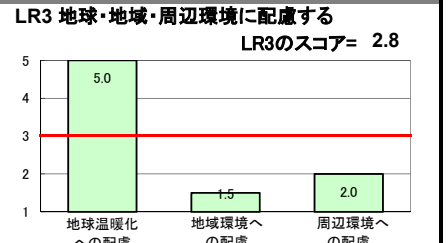
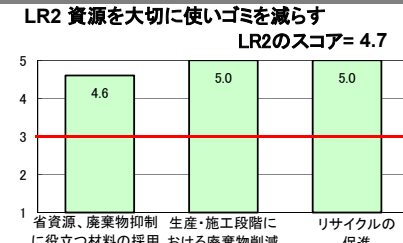
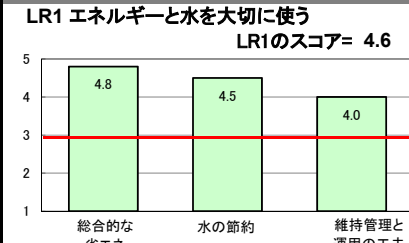


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合
本物件は、平成28年度(第1回)サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)[住宅(戸建住宅)]部門において採択されたプロジェクト物件である。提案項目により、環境効率5つ星とする住宅である。

その他

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする
災害時の温暖環境に配慮し、HEAT20が提唱のG2グレードの断熱性を有している。可動型日射遮蔽部材で日射調整したり、夏の太陽高度を加味した庇を設け、夏は日射遮蔽をし、冬は日射取得が可能な計画としている。

Q2 長く使い続ける
長期優良住宅仕様を有している。

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
構造材・羽柄材に、熊本県産材を使用している。

LR1 エネルギーと水を大切に使う
暖冷房設備・換気設備・給湯設備・照明設備・発電設備を各物件ごとに適切に組み合わせ、消費エネルギーの低減を行っている。

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす
省資源・廃棄物抑制・廃棄物削減へ積極的に取り組んでいる。

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する
弊社での工事項目に該当する部分のみ評価している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい